

Mitsui Fudosan

三井不動産 Story

ハドソンヤードで恋をして。
そんな歌が生まれるかもしれない。

マンハッタンにある三井不動産のオフィスには
新しい街の模型がある。
ここまで大規模な民間による再開発を
マンハッタンはこれまで経験したことがない。
実際にハドソン川の対岸から
ハドソンヤードと呼ばれるその街区を眺めると、
このプロジェクトの大きさがよくわかる。

見慣れたニューヨークが
静かにアップデートされていく。

この歴史的な開発事業に、
三井不動産は参加している。
建てるだけでなく
そこに集まるひとの姿を想像して
そのひとたちの暮らしを創造する。
そんな日本で培った街づくりの思想を生かすために。

ビルが生まれ、駅が生まれ、
人の流れが変わり、街が生まれ変わってゆく。

新しい風に吹かれながら
この街を舞台にした歌が
そのうち流行するような気がした。

『ハドソンヤードで恋をして。』
いまはまだ日本では馴染みのない地名だが、
きっと数年後には
その名を知らないひとはいない街になるんだろう。

いい街には、物語がある。

